

学校教育目標

自ら伸びる

府中町学校教育の重点
「あいさつ・感謝・志」

学校経営理念 「学校（地域）は子どもが育つ土壤である」

学校は人の集まるところです。子どもも大人も成長し、育っていくところです。人は環境に影響を受けながら、人との関わりの中で育ちつつ、自分で自分を創っていくものです。

小学校は、人間として成長していく確かな根っこ（基礎基本）を育てるところです。たとえば、植物の成長に必要な土壤です。土壤を柔らかく耕し、新しい空気を入れ、適当な水分や養分、温度があれば、植物はしっかりと根を張り、成長し、やがて自分の花を咲かせます。しっかりと根を張り、成長し、やがて自分の花を咲かせる子どもは「発達の当事者」であり、未来の大人として敬意をはらうべき存在です。

本校は、一人一人の子どもに発達の可能性を見出しながら、その子の根っこを太らせていく教育を追求します。教育活動の中にあらわれている子どもの姿をどう見ているのか、「しっかりと根を張り、成長し、やがて自分の花を咲かせる子どもは『発達の当事者』であり、未来の大人として敬意をはらうべき存在」という本校の子ども観に照らして問い合わせながら、地域にある学校としての使命を果たしましょう。

「問い合わせ」を大切にして

教育活動に山場を創り

「生きた言葉」で自覚化して

他者と関わり協力して

乗り越えていく

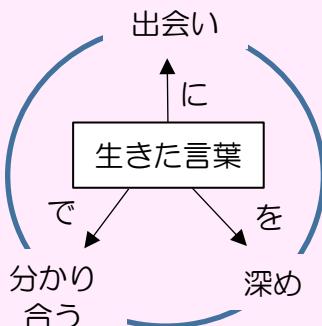
「自ら伸びる」意思の形成

学級活動(合意形成)

授業・行事

【教師こそ最大の教育環境】 学級経営力・授業力・自己認識力

～日々の教育活動の中に子どもをみつめる“まなざし”の研鑽～

「問い合わせ」のサイクル
【学びの型】

「生きた言葉」で暮らしを創る【はちの子の心得】

学校教育目標「自ら伸びる」

学年経営

4・5月

どんな学級をめざし、それを自分たちはどう創るか？

6・7月

どんな授業をめざし、それを自分たちはどう創るか？

9・10月

どんな学年をめざし、それを自分たちはどう創るか？

11・12月

どんな学びの姿をめざし、それを自分たちはどう創るか？

1・2・3月

次の年にはどんな学級・学年をめざし、それを自分たちはどう創るか？

「じまんの俳句」で学級を創る

<ねらいたい資質・能力>

知識及び技能

場や相手に応じて適切な言葉や考えを選択していく。

思考力・判断力・表現力

他者との関わりの中で、自分の言葉を深め、自分の思いや考えを問い合わせ、「生きた言葉」で表現していく。

学びに向かう力・人間性

他者との関わりの中で、自己認識力を高め、より良い自分を求め考えていく。

<研究主題>

「自ら伸びる」意思を形成する学びの創造

～協働的な学びと個別最適な学びの一体化をめざして～

コミュニティ・スクールの「願い」

「あいさつ・感謝・志」で大人も子どもも



Happyに！

子どもが
育つ土壤を
つくろう！